

平成 27 年 8 月 17 日

各 位

会 社 名 株式会社レッド・プラネット・ジャパン  
 代表者名 代表取締役社長 小野間 史敏  
 (JASDAQ コード : 3350)  
 問合せ先 経 営 企 画 室 中 村 朋 宏  
 電 話 (050-5835-0966)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 26 年 11 月 19 日に公表した平成 27 年 9 月期 (平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日) 通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 27 年 9 月期通期業績予想数値の修正 (平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,800	百万円 550	百万円 130	百万円 20	円 銭 0.14
今回修正予想 (B)	4,387	△471	△501	△537	△3.25
増減額 (B-A)	△1,413	△1,021	△631	△557	
増減率 (%)	△24.3	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 9 月期)	1,824	△382	△444	△430	△4.29

#### 2. 修正の理由

平成 27 年 9 月期通期業績予想につきましては、次の理由により予想値を下回る見込みとなります。

ホテル事業におきまして、当第 3 四半期を目処に 2 棟の既存ホテルの取得を計画しておりましたが、昨今の不動産市況が好況であることの影響から、取得価格の高騰により当初見込んでいた収支を達成できない見通しとなったことからこれらの案件を断念したため、両案件で見込

んでいた売上高約9億円、営業利益約6億円の減少が見込まれます。しかしながら、平成27年8月1日にレッドプラネット 浅草 東京が開業し、また、中部国際空港株式会社との土地賃貸借予約契約締結が実現するなど、引き続き新規の案件取得には注力しており、現在も数件のホテル案件を検討中であり、来期以降これらの案件による業績への貢献を見込んでおります。

飲食事業におきまして、海外の有力ブランドの多店舗展開及びM&Aの推進によるグループ機能強化を図っておりましたが、不動産市況が好況である影響から賃料の高騰及び資材の高騰等により条件交渉に当初想定以上の時間がかかったこと、国内外での出店におけるパートナーの選定及びM&Aを含む共同事業に関する条件交渉に時間がかかっていることなどから、当第3四半期及び第4四半期に計画していた国内外を含めた飲食店の新規オープンが5店舗程度、遅れているため、当初見込んでいた売上高約3億5,000万円、営業利益約2億円の減少が見込まれます。上記、出店計画が遅れた5店舗につきましては、現在出店のための工事を開始しており、来期以降、開業できる見込みとなっております。

音楽事業におきましては、想定していたアーティストのCD等の売上が予想より少なかったこと及び当初予定していたリリースがなされなかったことにより、売上高約1億6,000万円、営業利益5,000万円の減少が見込まれます。

損益面につきましては、上記理由に加え、今後のグループ全体の事業のさらなる飛躍に向け、本社機能を担う人材の充実及び新規案件の獲得・成立のための弁護士費用・準備費用等により、販売費及び一般管理費約1億5,000万円程度の増加が見込まれることから、営業利益、経常利益及び当期純利益ともに前回発表予想を下回る見込みであります。

第3四半期決算短信開示以降、業績予想の修正に関して、精査・検討を重ねてまいりましたが、この度、開示することが必要であるとの判断に至りましたので、本日開示することといたしました。

なお、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合がありますので、修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

以上